

青梅線ワンマン プロジェクト情報

第9号

JR 東労組八王子地本
2022年12月23日

12月16日、八地申第6号「青梅線ワンマン運転実施に向けた 申し入れ」の交渉が行われました！！その1

組合の要求

1. 青梅線内第4種踏切を第1種踏切に変更すること。

国の要請案件だ。安全の問題認識とリスクはどう考えているか。

発車時にモニターを注視しなければいけない。特に石神前は発車直後が踏切。リスクを背負っていることは共通の認識に立ちたい

2. 「ホリデー快速おくたま号」はお客様の需要を鑑み今後も運用すること。

回答は検討中となっているが2023年3月のダイヤ改正はこちら把握している。検討中とは具体的にどのように考えているのか。お客様の需要は？現状運用するのは検討しているのか。

2. ワンマン運転実施に伴い現行の停車時分を維持したうえで青梅～奥多摩間の運転時分を拡大すること。

試運転の訓練でギリギリだ。

落ち着いて作業して欲しいと1項で言っていた。

会社の回答

現時点では、変更する計画はない。35か所ある踏切のうち3か所ある。地域と調整を進めているが変更する予定はない。

石神前発車時は落ち着いて確認をして欲しい自治体、会社内で協議を行う。

青梅線の輸送体系は検討中である

お客様の利用状況運行形態様々なことから検討している。

実績はどういった時間帯形態がいいのか需要を把握して輸送設定している。→前向きに検討
プレス発表まで示すことはできない。

停車時分はお客様のご利用状況を踏まえて設定していく。なお、列車の運転時分については、車両性能や地上設備を踏まえ、必要な運転時分を確保している。ワンマンになって運転士が乗降確認をおこない発車する。

運転時分、停車時分は基本動作を加味せず設定する。安全はトッププライオリティー。遅れても焦らず安全を守って運行して欲しい。

必要な教育と訓練は行う。

青梅線ワンマン プロジェクト情報

第10号
JR 東労組八王子地本
2022年12月23日

12月16日、八地申第6号「青梅線ワンマン運転実施に向けた 申し入れ」の交渉が行われました！！その2

組合の要求

4. 多客期の対応として各駅に警備員を配置すること。現在は警備員を配置しているのか
5. ワンマン運転において集中力を維持するために青梅～奥多摩間は連続2往復以上の乗務にならないようにすること。現場の声から2連続往復は集中力が持たないと。作業が増えるのは明らか。
6. ワンマン運転における教育・訓練は社員の理解度を把握し、社員から要請があるときはその都度対応すること
必要な訓練はその都度丁寧に対応して頂きたい。確認する
7. タブレットだけの案内では時間を要するため、ワンマン担当者には紙面の運行図表を貸与すること
タブレットはアプリ起動に時間かかる。お客さまへの案内、乱れたときの交換遅延変更確認などに活用する。

会社の回答

お客様のご利用を鑑みエリア総体で対応を行っていく。
エリアとは拝島営業統括センター。イベント等があれば社員を増配置して対応する。

乗務員勤務制度の趣旨を踏まえ、多様な働き方と効率性の実現を勘案しつつ、乗務員交番割作成規程に基づき行路作成をしている。一般線区のため時間の制約はない。現在は2往復連続がある。ダイヤ改正でお示しをする。

必要な教育・訓練は実施していく。
計画通り訓練は進んでいる。追加訓練は聞いていない。要請あれば検討していきたい→相互に確認

現状で対応されたい
現状の電子時刻表を活用してほしい。
経営状況を踏まえて紙の運行図表の配布をやめた。
全社的に運行図表は電子版を活用している。

青梅線ワンマン プロジェクト情報

第11号
JR 東労組八王子地本
2022年12月23日

12月16日、八地申第6号「青梅線ワンマン運転実施に向けた 申し入れ」の交渉が行われました！！その3

組合の要求

8. ワンマン運転の担当者拡大における教育・訓練は当初のカリキュラムから変更することのないよう丁寧に行うこと
エンド交換時、当初は教育していた「ワンマンスイッチ切」という基本動作がなくなったということだが。
9. 乗務員室後方から No1 と No2 ドア戸袋付近にモニターによる死角があるため解消すること
死角がある認識はあるか
カメラの位置、現場の検証を要請したい。
10. 傘及び白状を用いて実際にドアに挟みモニターでの視覚訓練を全担当運転士に行うこと
ドアに荷物が挟まったまま起動してしまった場合の運転士の責任は？
11. 青梅駅到着時駅係員による案内放送を強化すること。特に遅延時による接続は駅が責任をもって行うこと。連携が主になると思うが、これまで通りのサービスになるかの危機感がある。

会社の回答

必要な教育・訓練は実施していく。
訓練の短縮、削減の考えはない。今後試運転ではなく、営業列車訓練をしていくことも考えている。
ワンマンスイッチを切らず入れたままでも青梅ワンマンのリスクはない。

車載ホームモニターを使用しお客さまの乗降確認を行う。
モニターはドアを確認するためのもの。カメラは必要なところを映している。死角は認識していない。
営業列車を使用した訓練があるので立川運転区と連携したい。

必要な教育・訓練は実施していく。
指導担当とは現車訓練にて傘を挟んだりしての検証を行っている。
乗務員に対してはシミュレーターを用いて訓練を行う。

関係者間で連携して対応することとなる。関係者は駅、指令、運転士。駅が放送にて案内する機会が多い。なお駅が責任を負うものではない

青梅線ワンマン プロジェクト情報

第12号
JR 東労組八王子地本
2022年12月23日

12月16日、八地申第6号「青梅線ワンマン運転実施に向けた 申し入れ」の交渉が行われました！！その4

組合の要求

12. 鹿など大型動物との衝突の際被衝突動物を運転士一人に対応させることがないよう関係社員の手配を行うこと

取扱いの考え方は、運転士が一人に対応することとなるが無理な負担にならないように。

13. 青梅奥多摩間で乗務員疾病が発生した場合の取り扱いを具体的に明確化すること

想定できない部分も網羅し内容を見直していかなければならない。今はどのように定めているのか。区で作成しているマニュアルはいつ完成するのか。マニュアルはワンマン担当者だけでなく全体化して欲しい。

14. E233系ワンマン改造車は運転士が立ち上がりモニターに頭部が衝突しやすいため、モニター下部に緩衝材を取り付けること。

お客さまにけがの可能性があればすぐ対応をしようと思うが、乗務員の場合は対応をしないのか。

15. 施策に伴う人事異動は、本人希望及びキャリアプランを前広に把握し、社員の資格や能力をじゅうぶんに考慮すること

主にジョブローテーション。車掌を続けられるかなど不安があると認識。

会社の回答

関係者間で連携して対応することとなる。

近くにいる社員が協力して行う。設備社員などが近くにいないければ管理駅が対応することになる。

異常時運転取扱手引等に定められた内容により対応する。

運転継続不可の場合は代替乗務員の手配もする。まずは指令に一報を入れてほしい。

区で作成をしているマニュアル完成は施策開始前の予定だ。全体化については確認をする。今後拡大するので、限定するものではない考え。

現状で対応されたい。声が出ていることは承知している。現状設置を検討していない。乗務中は帽子をかぶっているがケガにつながる場合は手立てしたい。お客さま、社員というのは関係なく様々な声を受けて対応したい。絶対にやらないわけではない。

社員の運用については、業務上の必要性に基づき任用の基準に則り取り扱っているところである。

秋の面談だけでなく普段から管理者とコミュニケーションを取って相談をしてほしい。

過渡期の認識は一致。

青梅線ワンマン プロジェクト情報

第13号

JR 東労組八王子地本
2022年12月23日

12月16日、八地申第6号「青梅線ワンマン運転実施に向けた 申し入れ」の交渉が行われました！！その5

組合の要求

16. 青梅奥多摩間を担当できる車掌の要因を確保し、臨時列車等の運用に休日出勤で対応することがないようにすること
要因がひっ迫をしている。特に12月は。もし今後要員が浮くとジョブローテーションで本人希望でない異動も考えられる。立川運転区は休日出勤が増えている。問題認識があることは確認した。
17. ワンマン運転実施に関わる施策について、拝島営業統括センター(青梅駅)、奥多摩駅関係社員には現時点で周知されていないため、丁寧に説明すること。
18. 青梅駅、奥多摩駅発車の際、乗車するお客さまの流動を運転士に伝達するため、改札口に乗務員無線を配備し活用すること。また、運転台乗務員無線のチャンネルを「上り」を定位置として徹底すること。
八王子駅では八高線の乗務員に対して活用しているようだが。
お客さまの流動、列車の接続は具体的に検討するべきだ。

会社の回答

業務の運営に必要な要員は確保していく。
臨時列車の運用、頻度はお客様の需要を見て変化。
休日出勤で対応をしないように要員を確保していきたい。立川車掌区では12月は時季変更権が多く発生している認識はある。勘案し必要な要員は確保していく。

必要な周知は行っていく考えである。
ダイヤ改正提案で具体的にどうあるか課題を抽出し1月以降に勉強会にて周知していく考えである。

現時点で設備を変更する考えはない
無線の使用には資格等も関わってくるため課題が多い。
八王子駅の乗務員無線の活用は把握していない。
今後ダイヤ改正提案で現場周知した際、課題解決は見出していく。支社は現場が困らないサービス低下ないようにサポートしていく。検討はしている。
1月2月には解決したい。

青梅線ワンマン プロジェクト情報

第14号
JR 東労組八王子地本
2022年12月23日

12月16日、八地申第6号「青梅線ワンマン運転実施に向けた 申し入れ」の交渉が行われました！！その6

組合の要求

19. 青梅駅ホーム上のLED案内表示は2行2列車表示のため、奥多摩行き専用のLED案内表示を追加すること

検討してほしい混乱を与えないでほしい。
青梅駅の列車発車時刻表の掲示板には発車の番線が書いていない。サービス向上の観点から検討課題に入れてほしい。

20. 車内貫通作業を確実にを行うために拝島営業統括センター（青梅駅）の作業ダイヤを整えること

現実を受け止めているが前向きに検討頂きたい

作業ダイヤは柔軟になっていく。入区や車内貫通も車掌がいらないからこれまで以上のダイヤにしてほしい。 以上

会社の回答

現時点では変更する予定はない

受け止める。認識をしている。駅放送で対応し、現状で対応していくを考えている。

社員の意見を参考にしつつより良い作業ダイヤとなるよう見直しを行う

変化点があるし現場の声を吸い上げて作業しやすい環境を整えていく。

**施策を前線で担っていく仲間たちからの意見を集め
全20項目を要求し交渉しました
安全でゆとりのあるワンマン施策を
職場から創り出していこう！！**